

タイトル	副詞「ろくに」の意味と構文特徴に関する考察
著者名（所属）	筑波大学大学院博士課程1年（人文社会科学研究群人文学学位プログラム）
連絡先Eメール	s2130006@s.tsukuba.ac.jp ; 18810892079@163.com
<p>本稿は意味特徴から「ろくに」の構文制限を検討する目的に発する。「ろくに」は基本義を持ち、そこには共起先の特徴に応じて三つの発生義が考えられる。その基本義は「共起先の表す内容が話し手の想定したところに達している」と規定できる。この基本義から「ろくに」が使用される文脈には次の2つの条件が要求されると考えられる。</p> <p>(1) a: 話し手が評価を下す際に、事態の状況が把握されている。 b: 事態に少なくとも二つのあり方が存在しうる。</p> <p>「ろくに」は話し手が自身の基準に照らしつつ、世界（実世界や仮想世界）に存在した事物、或いは発生した出来事など（以下「事態」）について評価を下す行為の言語上の現れといえる。この特徴から、事態に対して評価を行う前にそれがどんな内容なのか、或いはどういう状況なのかを話し手が知らなければならないということが窺える。未知なことに対しては評価のしようがない。実際の実事を知っている、または事態の状況を推測するための参照情報を持っている等の把握の仕方がある。また、事態の実際の状況と話し手の想定した状況を比較させるためにその事態には少なくとも事実上の状態（あり方1）と想定した状態（あり方2）の二つのあり方がなければいけない。事態が変化しない、等質的なものの続きであれば、それが話し手の想定に達したかどうかは判断することができない。</p> <p>「ろくに」の使用を容認する例は以上の観察を支持する。共起先に過去形や結果継続のテイル形をつけて事態が発生済みであることを明示したり、前後の文脈が事態が発生済み（或いはそれと判断するための参照情報）を示したりしている。また、「ろくに」（が否定形式「ない」と共に使う時）が「数量未達成」「動作未達成」と「状態未達成」の三つの発生義を持ちうる。「数量未達成」の場合、名詞が指示する対象がどれぐらい存在しても可能なので数のあり方は二つ以上ありうる。「動作未達成」という意味は人の意志的な動作で表される。この場合、人が動作をコントロールできるため、その動作が全くされないことも、話し手が想定したレベルまでされることも可能である。さらに、「状態未達成」の場合、事態がその状態に達していない段階と達している段階の二つの段階を比較している。</p> <p>「ろくに」の使用で非文となる場合は(1)の条件を満たさない。事態を把握するための参照情報がなければ、「明日、私はろくにノックしない」のような未来の事態について「ろくに」の使用が基本的に制限される。事態がまだ起きていないため、その実情が分からなければ評価を下すことは難しい。また、「回る」などのよう物の非意志的な動きや変化を表す動詞において、恒常的な動きや物の性質を表現する場合は「ろくに」が許されない。事態のあり方が一つしかないためである。「地球が太陽の周りをろくに回っていない」は非文である。ただし、人が動作をして、対象が想定の状態に達していないという文脈であれば「ろくに」の容認度が上がる。そして、人の一時的な感情や心理活動を表す動詞も基本的に「ろくに」と共起しない。「ろくにくらくらしめない」「ろくに助からない」は言えない。これらが外界に対する臨時的で不可避的な反応なので、二つ以上のあり方を持つとかまだその状態に達していないとかということがない。さらに、形容詞や名詞などは物（人）の恒常的な性質を表すことが多く、その状態は基本的に変わらないため、「ろくに」で評価することができない。</p> <p>最後に、「ろくに」が事態が話し手の想定に達しておらず、それがもっと多く存在する、なされる、或いはもっと高いレベルにある方が望まれるというニュアンスを帯びるため、事態がマイナス的だと容認しがたい。「ろくに人を嫉妬しない」は普通言わない。ただし、その事態が望まれているという文脈だと、許容しやすくなる。例えば「人を嫉妬すればマジシャンになれるのに、彼はろくに人を嫉妬しない」は前の文より許容度が上がると思われる。</p> <p>参考文献: 影山太郎編(2012)『属性叙述の世界』くろしお出版, 工藤真由美(1999)「否定と呼応する副詞をめぐって: 実態調査から」『大阪大学文学部紀要 39』69-107, 三原健一(2004)『アスペクト解釈と統語現象』松柏社, 中川正之(2005)『漢語からみえる世間と世界』岩波書店, 仁田義雄(2002)『副詞的表現の諸相』くろしお出版, 矢澤真人(2000)「副詞的修飾の諸相」仁田義雄等編『日本語の文法 文の骨格』岩波書店</p>	